

究極の3択☆ワンコのお散歩リードで色あそび—

名取 初穂

ようやくの対面開催で賑わいの戻った本年、本部研修会では暗室で発光ダイオードと紙コップを用いた「色光の三原色」の実践が行われ、色彩学習の新しい可能性を感じる得難い体験となりました。

秋から冬にかけては日が短くなり、夕方過ぎの街角ではピカピカ光る首輪を付けた犬たちのお散歩姿を見かけることも多いのではないのでしょうか。赤、緑、青、そしてレインボーカラー☆ 光る首輪に並び、最近のワンコユーザーたちの流行りのひとつにパラコード（パラシュートロープ）というキャンプなどに使用するアウトドア用のヒモで愛犬の首輪やリードを手作りする風潮があります。もれなく私も、愛犬のためにと流行に乗り、3色のヒモから成る「ハート編み」のお散歩リードを作ってみました。「好きな色のヒモを3本だけ選んで！」と、3色だけの組み合わせをイメージするとしたら、みなさんの“推し”のチョイスはなに色でしょうか。

自作のリードで散歩をしていると、犬友さんから「あら素敵ね！作り方、教えて」と言われ、その方もいざ編んでみると、またそれを見たほかの方が影響を受けて作りする・・・いつの間にかパラコードのお散歩グッズが伝播していきます。

ビビット、グレイッシュ、ダークトーン等々、3色のヒモの組み合わせ次第で仕上がるの印象がガラリと変わるため、「このピンクと紫だったら、繋ぎにグレーを合わせたいな」「私は赤と黒で、〇〇みたいになりたい（好きなサッカーチームの色）」など、ああでもない、こうでもない、と、犬友さんたちといつの間にか色彩の話題で持ちきりに—。

色彩の面白さは、単に専門家だけのものでなく、それは私たちが毎日あたりまえにしている呼吸のように、ごく自然に生活のなかに溶けこんでいるものだと再確認させられた一コマでした。愛犬と歩きながら、なにげない日常に色あそびの楽しみがあふれていることを実感する今日この頃です。



色光の三原色実践（本部研修会）



3色ハート編みの犬用リード



名取 初穂（ナトリ ハツホ）
國學院大學栃木短期大学准教授

今回のトピック 性の多様性と色の好み

今回は、性の多様性と美術教育について研究をされている足利短期大学の茂木克浩さんにご執筆いただきました。

6色で表す多様な性のあり方

茂木 克浩

6色のレインボーカラー。これはセクシュアル・マイノリティの権利保証と理解促進、連帯を示すシンボルです。このレインボーカラーのグッズを身につけることで、セクシュアル・マイノリティの理解者（Ally）であることを表明できます。このシンボルは1978年にアーティストのギルバート・ベイカーによってデザインされました。当初はピンクとターコイズの入った8色でしたが、当時の染色技術の問題や大量生産のしやすさといった理由から現在の6色になりました。それぞれの色には、赤：Life（生命）・橙：Healing（癒し）・黄：Sunlight（太陽）・緑：Nature（自然）・青：Serenity/Harmony（平穏 調和）・紫：Spirit（精神）という意味が込められています。ベイカーは後のインタビューで、色数よりも全ての色のスペクトラムを表現したかったと言っています。最近では私達の性のあり方はグラデーションであると言われることがあります。6色のレインボーカラーは、そのような複雑で多様な性のあり方を上手く表現しています。



生命
癒し
太陽
自然
平穏・調和
精神

レインボーカラーと各色の意味



レインボーカラーのグッズ

【参考文献】

『LGBTの象徴『レインボーフラッグ』はなぜ6色？ 作った人に聞いてみた』
<https://wotopi.jp/archives/41258> (参照2023.10.20)



プロフィール

茂木 克浩(モギ カツヒロ)

足利短期大学こども学科講師。NPO法人まえばしプロジェクト理事長。ぐんびけんのメンバーとしても活動中。セクシュアル・マイノリティ当事者と協働で「性の多様性×美術教育」をテーマに実践/研究を行っている。

会員リレーコラム

「柚木 沙弥郎（ゆのき さみろう）作品の魅力」

1922年東京生まれの柚木沙弥郎さんは、芹沢銈介に師事された染色家です。染布、染紙などの型染を中心に壁紙、装幀、イラスト、絵本などを発表され、女子美術大学名誉教授でもあります。

作品は、古典的な技法を用いており、比較的濃く深みのある色や鮮やかな色。大胆な幾何文様が多く、モダンでスタイリッシュでもあることから、幅広い世代に支持されています。

ご自身の誕生100年出版記念で絵本『魔法のことば』（福音館書店 再発行）が出版されました。1994年のこの絵本のオリジナルは、1996年度〈子どもの宇宙〉国際図書賞を受賞されています。絵本をめくると、柚木沙弥郎さんの可愛らしい植物や動物の絵がとても印象深く、強い生命力を感じました。



『魔法のことば』表紙
(福音館書店HPより)

【参考文献】『魔法のことば』柚木 沙弥郎 絵 / 金関 寿夫 訳
福音館書店（柚木沙弥郎 生誕100年記念出版）

瀧川 優子（タキガワ ユウコ）
日本色彩教育研究会 正会員

第4回『色いろサロン』を開催しました

2023年8月4日（金）に、第4回となる『色いろサロン』を開催しました。「ユニバーサルデザインと色 一色に触れる・色を感じる」をテーマとし、司会の手塚千尋さん進行のもと、昆野照美さんには『社会におけるカラーユニバーサルデザイン実践』、笠原広一さんには『多様な色覚特性の理解とマルチセンサリー(多感覚的)な体験の共有へ』についてお話しいただきました。

<参加者からのご感想(一部抜粋)>

『色覚シュミレーションを体感しながらお話を聞くことができ理解が深まりました。』

『色弱の方の見え方など興味があったので、どのように見えているのかがよく分かりました。美術の授業の中でも活かせそうです。』

『お二人とも身の回りの具体的なところから分かりやすくお話しくださり、基本的なところを再認識するとともに、あらためて、たくさんの気づきをいただきました!』

第5回は11月24日(金)20:00~21:00に開催予定です。詳細は次ページをご覧ください。たくさんのご参加、お待ちしております。

オンラインセッション 第5回『色いろサロン』のご案内

Color Circleで取り上げたトピックに関連するオンラインセッション『色いろサロン』の第5回を開催いたします。今回はテーマを『性の多様性と色の好み』として、執筆者の方に話題提供をしていただきます。

『色いろサロン』では、登壇者の方へのご質問はもちろん、参加者同士で意見交換を行い、会員同士の交流ができる場にしていきたいと考えています。

視聴のみのご参加も大歓迎です。会員の皆様、並びに本研究会にご関心のある方々、奮ってご参加ください。

●日時：2023年11月24日（金）20：00～21：00

●方法：ZOOMによるリアルタイム配信

●オンライントークの会の流れ

・ Color Circle vol.05のトピック執筆者によるお話

茂木克浩さん

名取初穂さん（司会）

・ トピックに関する質疑応答

・ 参加者全体、またはグループに分かれての意見交換

●参加費：

本研究会会員の方・・・無料

一般の方・・・1,000円

非会員のうち、学生で会員の紹介がある場合は無料

参加申込と同時にご入会いただいた場合は無料

●参加費のお振込先：

「郵便振替」「銀行振込」のいずれかよりお願いいたします。

郵便振替：00150-6-136277 色彩教育研究会

銀行振込：ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座 136277 色彩教育研究会

●お申し込み方法：以下のGoogle フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/B6cDKshgi3qxjptX6>

参加申込・参加費納入期限：2023年11月22日（水）

⇒11月23日（木）にZOOMのURLをお送りいたします。

※11月23日中にメールが届かない場合は、恐れ入りますが、事務局までご連絡をお願いいたします。

★こんなことを聞きたい、質問したい！等のご要望は、ぜひお申込フォームに記載をお願いいたします！

お問い合わせ先：日本色彩教育研究会事務局

ohuchi.hiroko@jcri.jp（大内） または sasaki.mikuko@jcri.jp（佐々木）



日本色彩教育研究会HP <http://shikikyo.jp/index.html>

発行人：茂木一司

製作：Color Circle編集委員会

（名取初穂、島田由紀子、手塚千尋、中島千絵、宮野周、大内啓子、佐々木三公子）

